

港区区政会議

こども青少年部会

【平成30年度 中間振り返り】

人権、教育 2つの戦略

人 権

3－5 多様性を尊重しあう共生社会づくり
の推進

教 育

4－1「子どもの学び」の応援

戦略3ー5 多様性を尊重しあう共生社会 づくりの推進

【めざす状態】＜概ね3～5年間で念頭に設定＞
多様性を尊重しあう共生社会づくりが進んでいる

【平成31年度の目標（アウトカム）】

「一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と答えた区民の割合
毎年1%以上あげる

〈状況〉 27年度 29.7% 28年度 25.6% 29年度 31.6%

戦略3－5 多様性を尊重しあう共生 社会づくりの推進

具体的取組

①区における人権啓発推進・人権相談

【平成30年度の目標】

人権啓発事業の参加者のうち、人権問題への関心や意識を高めるうえで
役立ったと思う人の割合：80%以上

戦略3ー5 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進 具体的取組

①区における人権啓発推進・人権相談

ア. 人権展、人権講座等

- ・人権展・人愛ふれあいプラザ(11月30日～12月4日)

- ・人権講座

 - 9月22日 スクールカウンセラーによる「不登校の理解とこどもへの接し方」講演会

 - 12月2日 「地域食堂から学ぶ『共生のまちづくり』」

 - 12月3日 「誰も取り残さない社会に向けて人権のルール化を
～SDGsと差別を解消するための3法～」

 - 12月4日 「発達性協調運動障害(CDC)とは～不器用と言われる子どもたちへの理解と支援～」

人権展の様子

(平成29年度より)



スクールカウンセラーによる 「不登校の理解とこどもへの接し方」講演会の様子



戦略3ー5 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進 具体的取組

①区における人権啓発推進・人権相談

イ. LGBT(性の多様性)への取組み

- ・レインボーカフェ3710(当事者やアライによる集い)を開催(毎月第4火曜日)
- ・レインボー3710×手話サークルみなと講演会「ろうとLGBTQの交差点で
～多様な性自認/性的指向について考えよう～」

の実施協力 1回

- ・区民まつりにブースを出展。
啓発パネル展示、啓発資料・グッズ配布、
LGBT関連図書の展示、ハンドトーク

【9月末時点】



戦略3－5 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進 具体的取組

①区における人権啓発推進・人権相談

ウ. チラシ・情報誌等の掲出

・区広報紙への掲載:4件

北朝鮮当局によって拉致された被害者等
就職差別撤廃月間
特設人権相談所
犯罪被害者等

・区ホームページへの掲載:3件

LGBT(性の多様性)啓発パネル
北朝鮮当局によって拉致された被害者等
人権・家庭教育に関する学習会助成事業

【7月末時点】

人権、教育 2つの戦略

人 権

3－5 多様性を尊重しあう共生社会づくり
の推進

教 育

4－1「子どもの学び」の応援

戦略4ー1 「子どもの学び」の応援

【めざす状態】 <概ね3～5年間で念頭に設定>

子どもの学ぶ力、生きる力を育む環境づくりが進んでいる。

学校、家庭、地域の連携により、家庭学習が習慣になっている子どもの割合を増やす。

【平成31年度の目標(アウトカム)】

○適正配置の対象となっている小学校の適性配置計画を平成30年度末までに策定する。

○「授業時間以外の1日あたりの勉強時間」が「30分より少ない」、「全くしない」と答えた児童・生徒の割合の合計を各校の現状値(平成27年度)から平成30年度に5%改善する。

戦略4－1 「子どもの学び」の応援

具体的取組

- ① 分権型教育行政の効果的な推進
- ② 学校の規模や配置の適正化などの横断的な課題解決の取組み
- ③ 家庭学習促進
- ④ 地域の強みを活かした教育力向上
- ⑤ 多文化共生教育スタートアップ事業
- ⑥ 学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援
- ⑦ 発達障がいサポート等
- ⑧ 港区サードプレイス・不登校児童生徒支援
- ⑨ 青少年の健全育成の推進

戦略4ー1 「子どもの学び」の応援

①分権型教育行政の効果的な推進

- ・教育会議（区政会議こども青少年部会）の開催：1回
- ・区教育行政連絡会の開催：小学校、中学校、小中学校合同 各1回
- ・学校協議会委員への研修：1回
- ・学校協議会会長情報交換会：1回
- ・区内17校園の学校協議会への区職員の出席：各1回 【9月末時点】

【平成30年度の目標】

- 区内において、学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合：30%
- 学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる小・中学校の学校協議会委員の割合：30%
- 自校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる小・中学校長の割合：20%

戦略4－1 「子どもの学び」の応援

②学校の規模や配置の適正化など横断的な課題解決の取組み

- ・教育会議（区政会議こども青少年部会）の開催：1回
- ・区教育行政連絡会の開催：小学校、中学校、小中学校合同 各1回
- ・教育会議（区政会議こども青少年部会）、区教育行政連絡会及び学校協議会会長情報連絡会で、現状を示すとともに、適正配置計画案の方向性を説明

【平成30年度の目標】

「適正配置計画」を作成する。

【目標未達成の原因分析】

1. 教育委員会からの施設一体型小中一貫校の今後の進め方の方針が示されていないため、具体的な適正配置計画案が策定できない。
2. 港区は交通の便がよく、隣接区の西区において子育て世帯の人口が大幅に増えている現状がある。平成29年度に人口の社会増減で増加に転じており、中・長期的には人口が増加する可能性がある。

•【改善策】

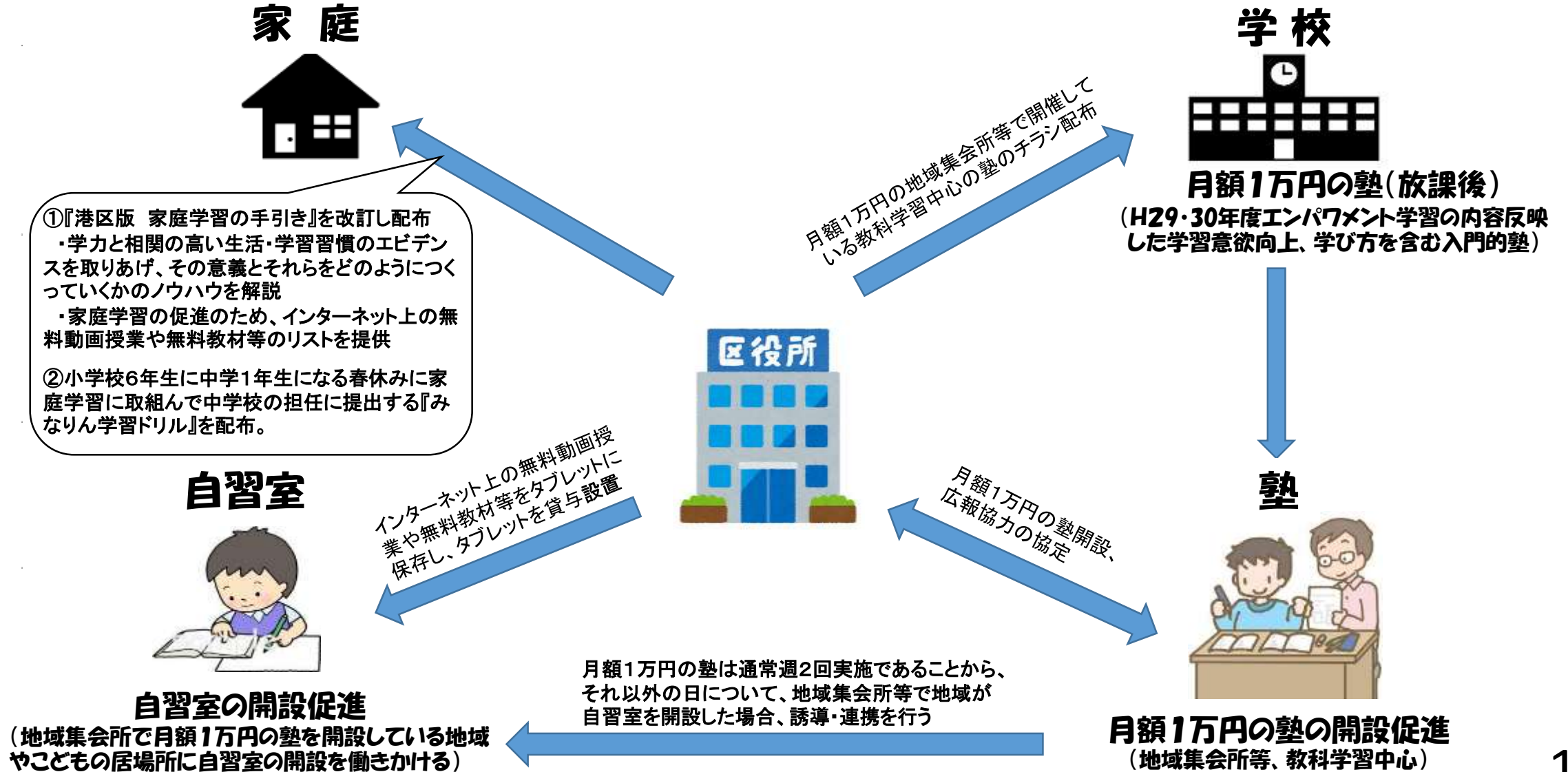
1. 教育委員会に対し、「施設一体型小中一貫校の今後の進め方の方針」の提示をもとめていくとともに、単学級解消策の検討を進める。
2. 長期的な児童数の推移を慎重に見守る。

③家庭學習促進

- ## 【平成30年度の目標】

15

港区 家庭学習促進事業のスキーム



戦略4ー1 「子どもの学び」の応援

④地域の強みを活かした教育力向上

- ・海遊館生物教室(小学校 3校)を学校との協働で実施
- ・絵本による読書活動促進事業スタートアップ(絵本ひろば)の実施
(小学校2校)
- ・こどもサイエンスカフェの実施 4回
築港中学校と協働したロボットプログラミング 3回(7~8月)
自然観察体験 1回(8月)

【平成30年度の目標】

各取組メニューの提供先となる対象(学校や参加者など)へのアンケートにおける肯定的意見: 70%以上

絵本ひろばの様子



こどもサイエンスカフェ 「ロボットプログラミングの様子」



戦略4ー1 「子どもの学び」の応援

⑤多文化共生教育スタートアップ事業

- ・多文化カフェ及び多文化エンパワメント教室の事業内容の精査検討
- ・帰国・来日等の児童生徒への学習サポーターの配置対象者 4人
- ・帰国・来日等の児童生徒への学習サポーターの配置時間 313時間

【7月末時点】

【平成30年度の目標】

多文化カフェへの参加児童生徒へのアンケートで「多文化共生に関心をもった」と回答する割合:60%以上

多文化カフェの様子

(平成29年度より)



多文化エンパワメント教室の様子

(平成29年度より)



戦略4-1 「子どもの学び」の応援

⑥学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援

- ・スクールソーシャルワーカー等の配置

区内17学校園を巡回するとともに、学校園からの要請に基づき派遣

スクールソーシャルワーカー2人配置 67日

小学校へのスクールカウンセラーの増員(1人配置)

土曜教育相談(毎月1回) 4回

【7月末時点】

【平成30年度の目標】

スクールソーシャルワーカーによって好転した新規ケースの件数

10件以上

戦略4ー1 「子どもの学び」の応援

⑦発達障がいサポート等

- ・校外学習や課外活動等において、発達障がいサポーターを配置
(944時間)
【7月末時点】

【平成30年度の目標】

発達障がいサポート等が「有効」と回答した学校園の割合

100%

戦略4ー1 「子どもの学び」の応援

⑧港区サードプレイス・不登校児童生徒支援

- ・子どもの居場所の開設(5回)
- ・教育相談の実施(4回)
- ・不登校児童生徒等への別室登校等サポーター配置(137時間)
- ・不登校児童生徒アウトリーチ型支援サポーターの配置(280時間)

【7月末時点】

【平成30年度の目標】

各中学校でそれぞれ実施するアンケートにおいて、学校生活の楽しさや通学意欲を問う設問に対し、否定的回答をした生徒の割合が、平成28年度を基準として改善している学校が3校以上

戦略4－1 「子どもの学び」の応援

⑨青少年の健全育成の推進

【平成30年度の業績目標】

区民モニターアンケートによる「1年間でこどもの健全育成の活動に参加したことがある」と回答する割合：23%以上

【実績等】

- ・青少年指導員・青少年福祉委員の委嘱業務にかかる活動交付金を交付、
青少年指導員による夜間巡視活動「指導ルーム」の実施
- ・「青少年育成推進会議」における夜間巡視活動等（7・8月）、
講演会の実施（1校・7月）、各中学校下青少年育成推進会議の開催（4校）

特にご意見をいただきたい項目

「家庭学習の促進に向けて効果的な取組み」や、「インターネット上の無料動画授業・無料教材等のリストの活用方法」について、ご意見をください。

【運営方針 具体的取組 4-1-3 家庭学習促進 に関連】

これまでの取組み

- ①『港区版 家庭学習の手引き』の作成・配布(平成26年度～)
- ②小学校6年生に、中学校1年生になる春休みに家庭学習に取り組んで中学校の担任に提出する『みなりん学習ドリル』を作成・配布(平成26年度～)
- ③学校の長期休業中にゆめホーム「ゆめ」かなえる港区民センター、ゆめホーム「ゆめ」かなえる港近隣センターで自習室を開設(平成28年度～)
- ④大阪市塾代助成事業の助成上限の1万円で受講できる学習教室の開設促進(平成29年度～)
※平成29年度は5カ所開設したが、現在は1カ所(田中地域)で開設
- ⑤中学生を対象とした、学習意欲の向上、学習のノウハウなどを学べるエンパワメント学習を行う講習会「みなと学び教室」を開催(平成29年度～)
- ⑥インターネット上の無料動画授業・無料教材等をリスト化し、港区役所のホームページで公表するとともに、冊子を児童生徒に配布(平成30年度)

- 「区内の教育行政に関するアンケート」と「港区 区政会議 こども青少年部会に関するアンケート」の2種類のアンケートにご協力をお願いします。
- 「区内の教育行政に関するアンケート」は、港区教育会議の位置づけである、こども青少年部会でのみ、実施させていただきます。
- 「区内の教育行政に関するアンケート」は、設問への補足説明をしますので、それをお聞きいただき、アンケートにご記入ください。
- 区政会議(全体会議:10月30日開催)終了後にもアンケートを行いますのでご協力をお願いします。
- これらのアンケートは、24区で統一的に実施します。